

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL <http://www.csmen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 梶島 正司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 保住 光良

TEL 03-5623-3781

四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,425	1.3	△8	—	△14	—	△28	—
26年2月期第2四半期	3,380	△3.9	△18	—	△22	—	△36	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△36.58	—
26年2月期第2四半期	△45.85	—

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	3,818	2,084	54.6
26年2月期	3,901	2,115	54.2

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 2,084百万円 26年2月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,960	3.1	105	—	90	—	30	—	37.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	975,000 株	26年2月期	975,000 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	185,400 株	26年2月期	185,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	789,600 株	26年2月期2Q	789,600 株

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、株式数は当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による積極的な経済政策および金融政策の効果もあり、企業収益に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、4月の消費税率引き上げや、円安の進行等による物価上昇の影響により、個人消費につきましては慎重な購買姿勢が続いており、小売業界は引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、組織改革として、販売と商品を横断的に統括する、営業本部を新たに設置し、連携の強化と意思決定の迅速化を図ってまいりました。また会議体として、営業部門・管理部門の主要メンバーで構成される業務執行機関として拡大執行役会を設置し、全社一丸となって事業運営を推進する態勢を整備いたしました。

販売面におきましては、販売部を廃止して、各地区を営業本部直轄となるフラットな組織に改編、権限と責任を委譲することにより、若手リーダーの意識改革を行い、人材の育成と活性化を図ってまいりました。

商品面におきましては、仕入先との連携を強化して、メーカーの機能・能力を活用した商品力の向上に取り組み、また、シーズンを先取りした商品投入を実施することにより、ファッション感度の高い客層の需要を取り込むよう努めてまいりました。さらに、商品の分配業務を強化するため、オペレーションチームを新たに設置して、店別品揃えの精度向上と在庫の適正化を推進してまいりました。

以上の施策を実施したことにより、販売面では堅調な推移が見られ、既存店の売上高前年比は104.3%、全社の売上高前年比は101.3%となりました。しかしながら、利益面では、価格を抑えた商品の投入や、消費税率引き上げ後に、実質値下げとなった商品などの要因により、売上総利益率は前年を1.1ポイント下回る48.7%、売上総利益の前年比は99.2%となりました。

店舗戦略におきましては、「METHOD」1店舗を出店する一方で、「METHOD」2店舗を閉店いたしました。その結果当第2四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」39店舗、「流儀圧搾」31店舗、「METHOD COMFORT」2店舗(アウトレット店)、「AGIT POINT」1店舗、「誓文払い」1店舗(アウトレット店)の合計74店舗となりました。

新規事業におきましては、ネット販売を事業として確立させるべく新たにオンライン販売部を設置いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は34億25百万円(前年同期比1.3%増)、営業損失は8百万円(前年同期比9百万円損失減)、経常損失は14百万円(前年同期比7百万円損失減)、四半期純損失は28百万円(前年同期比7百万円損失減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は24億59百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少1億68百万円、商品の減少32百万円、売掛金の増加2億14百万円等によるものであります。固定資産は13億54百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減少35百万円、リース資産の減少14百万円、敷金及び保証金の減少26百万円等によるものであります。

この結果、総資産は38億18百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は10億51百万円となり、前事業年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に設備関係支払手形の減少25百万円、買掛金の増加45百万円、未払費用の増加53百万円等によるものであります。固定負債は6億82百万円となり、前事業年度末に比べ1億15百万円減少いたしました。これは主に社債の減少25百万円、長期借入金の減少85百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は17億34百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は20億84百万円となり、前事業年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少28百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、営業活動により6百万円増加、投資活動により30百万円減少、財務活動により1億44百万円減少し、12億25百万円となり、前事業年度末と比較して1億68百万円の減少となりました。

また、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は6百万円となりました。

これは主に税引前四半期純損失25百万円に、売上債権の増加による資金の減少2億14百万円、償却等の内部留保の合計83百万円による資金の増加、たな卸資産の減少による資金の増加32百万円、仕入債務の増加による資金の増加39百万円、その他の負債の増加による資金の増加46百万円、未払消費税等の増加による資金の増加41百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は30百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入43百万円、固定資産の取得による支出67百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は1億44百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出1億5百万円、社債の償還による支出25百万円、リース債務の返済による支出14百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の通期業績予想につきましては、平成26年9月25日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,844	1,225,053
売掛金	175,166	389,563
商品	787,470	755,074
繰延税金資産	39,727	49,883
その他	61,051	43,465
貸倒引当金	△3,250	△3,591
流動資産合計	2,454,010	2,459,448
固定資産		
有形固定資産		
建物	866,760	841,143
減価償却累計額	△534,474	△525,619
建物（純額）	332,285	315,524
工具、器具及び備品	234,971	235,775
減価償却累計額	△132,477	△143,206
工具、器具及び備品（純額）	102,494	92,569
建設仮勘定	9,301	-
有形固定資産合計	444,081	408,093
無形固定資産		
ソフトウェア	15,789	16,372
リース資産	28,920	14,460
その他	6,006	3,150
無形固定資産合計	50,716	33,983
投資その他の資産		
投資有価証券	73,152	70,317
長期貸付金	66,889	64,989
長期前払費用	9,947	9,520
繰延税金資産	74,731	69,574
敷金及び保証金	789,068	763,061
貸倒引当金	△66,889	△64,989
投資その他の資産合計	946,898	912,472
固定資産合計	1,441,696	1,354,549
繰延資産		
社債発行費	5,531	4,916
繰延資産合計	5,531	4,916
資産合計	3,901,238	3,818,914

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	68,014	62,729
買掛金	161,820	206,836
短期借入金	220,000	220,000
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	185,940	166,020
リース債務	23,998	10,437
未払費用	155,054	208,330
未払法人税等	12,615	13,120
賞与引当金	53,000	54,700
役員賞与引当金	-	5,706
設備関係支払手形	28,761	2,862
資産除去債務	2,900	3,355
その他	26,304	47,778
流動負債合計	988,411	1,051,877
固定負債		
社債	175,000	150,000
長期借入金	433,818	348,288
役員退職慰労引当金	31,565	29,482
リース債務	581	-
資産除去債務	156,529	154,637
固定負債合計	797,493	682,407
負債合計	1,785,905	1,734,285
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,000	245,000
資本剰余金	415,193	415,193
利益剰余金	1,584,546	1,555,667
自己株式	△150,446	△150,446
株主資本合計	2,094,293	2,065,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,040	19,215
評価・換算差額等合計	21,040	19,215
純資産合計	2,115,333	2,084,629
負債純資産合計	3,901,238	3,818,914

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	3,380,927	3,425,363
売上原価	1,698,395	1,755,651
売上総利益	1,682,532	1,669,711
販売費及び一般管理費	1,700,886	1,678,467
営業損失(△)	△18,353	△8,755
営業外収益		
受取利息	825	964
受取配当金	425	425
貸倒引当金戻入額	1,268	1,559
雑収入	63	705
営業外収益合計	2,582	3,654
営業外費用		
支払利息	6,230	8,825
その他	174	797
営業外費用合計	6,405	9,623
経常損失(△)	△22,176	△14,723
特別損失		
固定資産除却損	8,106	4,448
店舗閉鎖損失	105	3,104
減損損失	7,951	3,200
特別損失合計	16,163	10,754
税引前四半期純損失(△)	△38,339	△25,478
法人税、住民税及び事業税	7,422	7,390
法人税等調整額	△9,562	△3,988
法人税等合計	△2,139	3,401
四半期純損失(△)	△36,200	△28,879

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△38,339	△25,478
減価償却費	55,620	55,531
無形固定資産償却費	17,699	18,358
長期前払費用償却額	3,369	2,031
減損損失	7,951	3,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,268	△1,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,400	1,700
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	768	5,706
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△2,083
受取利息及び受取配当金	△1,250	△1,389
支払利息	6,230	8,825
固定資産除却損	8,106	4,448
売上債権の増減額(△は増加)	△134,505	△214,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	95,291	32,396
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,273	6,100
仕入債務の増減額(△は減少)	△83,880	39,731
その他の負債の増減額(△は減少)	34,584	46,210
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,185	41,436
小計	△42,482	20,770
利息及び配当金の受取額	1,250	1,389
利息の支払額	△6,411	△8,325
法人税等の支払額	△54,180	△7,375
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,823	6,459
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△221,567	△63,545
無形固定資産の取得による支出	△130	△4,351
敷金及び保証金の回収による収入	22,359	43,281
敷金及び保証金の差入による支出	△38,793	△4,353
長期前払費用の取得による支出	△5,382	△1,604
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,513	△30,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	-
長期借入金の返済による支出	△88,706	△105,450
社債の発行による収入	243,854	-
社債の償還による支出	-	△25,000
リース債務の返済による支出	△15,681	△14,142
配当金の支払額	△31,429	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	308,036	△144,677
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△37,300	△168,791
現金及び現金同等物の期首残高	1,184,313	1,393,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,147,013	1,225,053

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)及び当第2四半期累計期間(自平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。